

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	1	土木総務費	1億3,620万4	1億3,131万3	278~281
<b>【道路課】</b>						
<b>○土木建築人材育成事業 13万5千円</b>						
定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成、人口流出の抑制を図った。						
<p>■実績 9件 支給額 13万5千円</p> <p>■内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築士 2件</li> <li>・ 土木施工管理技士 3件</li> <li>・ 管工事施工管理技士 1件</li> <li>・ 造園施工管理技士 0件</li> <li>・ 建設機械施工技士 1件</li> <li>・ 建築施工管理技士 2件</li> <li>・ 電気工事施工管理技士 0件</li> </ul>						

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	2	建築指導費	1,255万3	1,097万2	280~283
<b>【都市整備課】</b>						
<b>○建築指導費（建築確認申請等） 1,097万2千円</b>						
建築基準法に規定する建築確認及び完了検査、道路位置指定及び建設リサイクル法に規定する解体届出の受付、長期優良住宅法に規定する長期優良住宅の認定業務などを実施した。						
また、市有施設の新築及び改修等に関する設計及び監理を実施した。						
<b>※建築確認等業務（歳入） 397万3千円</b>						
			申請件数	申請手数料		
			・ 建築確認申請 106件	178万7千円		
			・ 工作物確認申請 4件	4万4千円		
			・ 計画変更申請 5件	4万1千円		
			・ 完了検査申請 91件	191万9千円		
			・ 工作物完了検査申請 1件	1万2千円		
			小計① 207件	380万3千円		

・道路位置指定	1 件	5 万 0 千円
・長期優良住宅認定申請	20 件 (内、変更 2 件)	12 万 0 千円
小計②	21 件	17 万 0 千円
<u>総計 (①+②)</u>	<u>228 件</u>	<u>397 万 3 千円</u>

< 建築確認申請における現場調査の様子 >



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	1	道路橋りょう総務費	3,148 万 9	2,618 万 6	282~285

**【道路課】**

道路拡幅等により寄附を受けた土地の登記等を行った。

・委託	分筆図作成公共嘱託登記業務委託料	12 件	504 万 3 千円
	道路台帳加除修正業務委託料	1 件	612 万 3 千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	2	道路維持費	1億386万0	8,161万5	284~287

### 【道路課】

道路の維持管理のため、下記のとおり実施した。

#### ・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
側溝	83件	1,082万4千円
舗装	65件	1,218万1千円
路肩	40件	913万0千円
倒木撤去等	53件	456万3千円
計	241件	3,669万8千円

・委託 除草・樹木管理業務委託料 3件 723万6千円

#### ・道路工事 (単独)

工種	件数	事業量	支出額
舗装補修維持	4件	A = 1,206 m <sup>2</sup>	699万0千円
側溝補修維持	3件	L = 328m	748万1千円
路肩補修維持	4件	L = 230m	831万6千円
計	11件		2,278万7千円

#### ・原材料費 (単独)

種別	支出額
補修用材料費	204万5千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	3	道路新設改良費 (単独)	2億9,476万0	2億296万2	286~291

**【道路課】**

**○道路整備事業 7,355万9千円**

道路の改良整備について、下記のとおり実施した。

・道路工事(単独)

工種	件数	事業量	支出額
改良工事	6件	L=496m	3,879万2千円
舗装工事	2件	A=1,638 m <sup>2</sup>	1,262万6千円
計	8件		5,141万8千円

・用地取得 2筆 32.6 m<sup>2</sup>

**○船津地区高潮対策事業 1億2,940万4千円**

船津地区の高潮対策として、下記のとおり実施した。

- ・建物等調査業務委託 1件
- ・分筆図作成公共嘱託登記業務委託 1件
- ・用地取得 7筆 151.52 m<sup>2</sup>
- ・建物等補償 建物等補償 11件
- ・改良工事 2件

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	4	橋りょう新設改良費	6,373万1	6,120万6	290~291

**【道路課】**

**○社会資本整備総合交付金（補助） 6,092万7千円**

道路橋定期点検要領（平成26年6月国土交通省道路局）に従い変状等の異常を把握するための点検を実施し効率的な道路管理行政を行うための基礎資料を作成した。

- ・橋りょう定期点検業務委託料 643万9千円（22橋）

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工事を行った。

- ・橋りょう補修工事 5,419万9千円（5橋）



着工前



完成

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	5	交通安全施設等整備事業費	970万5	962万3	290~293

### 【道路課】

交通安全対策のため、施設の整備及び維持補修を下記のとおり実施した。

・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
道路照明灯	18件	65万7千円
道路反射鏡	3件	11万8千円
防護柵	3件	41万5千円
区画線等	4件	114万5千円
計	28件	233万5千円

・工事 (単独)

工種	件数	支出額
区画線等設置	2件	675万3千円

・原材料費 (単独)

種別	支出額
交通安全補修用材料費	46万2千円

【区画線】  
設置前



設置後





款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	3	1	河川整備事業費	6,641万8	6,505万3	292~293

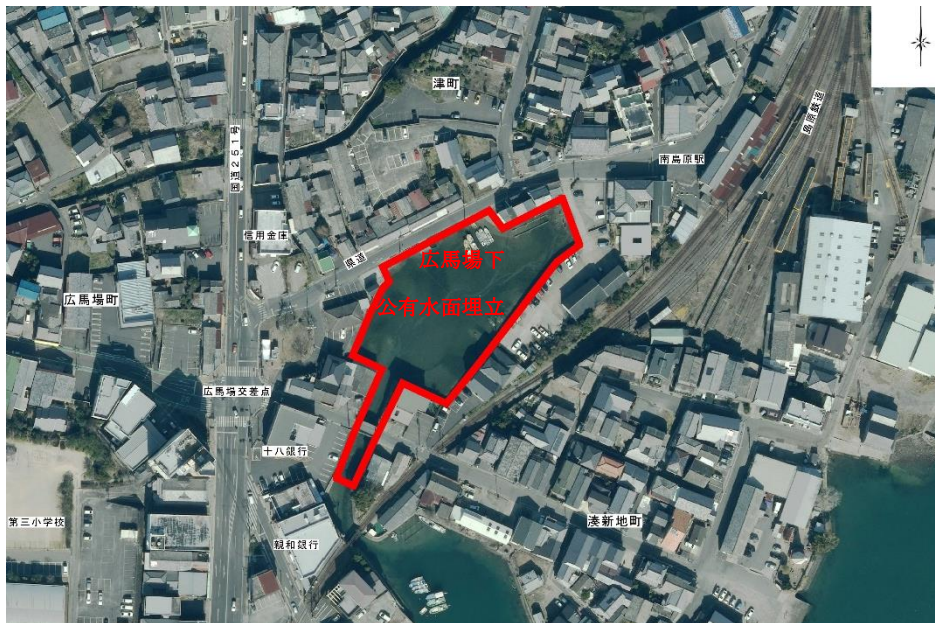
**【都市整備課】**

**○広馬場下公有水面埋立事業費 6,235万8千円**

船津地区の高潮浸水被害を防止し地域住民の人命と財産を守るため、広馬場交差点から南島原駅へ向かう途中の船溜まり約4,500㎡を埋め立てる計画である。

また、埋立後の利活用方法は、船津地区の防災機能の強化を図るため、一次避難場所としての役割をもつ防災広場などの防災施設を整備するとともに、平常時は市民の健康増進の場所やイベント開催場所として利用できる多目的広場を計画している。

- ・ 締切護岸工事 締切幅 8.5m 締切高 4.2m
- ・ 用地取得 3件 (4筆 482.29㎡)
- ・ 建物等補償 4件 (3棟 工作物1件)



平成24年9月17日 台風16号  
(床上浸水74戸 床下浸水182戸)



締切護岸完成  
(十八銀行湊支店裏)

### 【道路課】

河川（排水）整備のため、下記のとおり実施した。

・修繕（単独）

工種	件数	支出額
排水路(水路)修繕	10件	151万1千円

- ・新田潮調整池浚渫工事 107万5千円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	4	1	港湾管理費	1億5,284万0	5,344万4	292～297

### 【道路課】

○港湾管理経費 3,803万5千円

島原港ターミナルビル維持管理費 等



<島原市の海の玄関口 島原港ターミナルビル>



**○港湾整備事業費負担金 1,540万9千円**

港湾整備事業について下記のとおり負担した。

事業名	箇所	事業費	地元負担金
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	内港霊南 地区	4,146万0千円	472万0千円
島原港 社会資本整備総合交付金 (地域自立活性化)	外港地区	1,498万0千円	206万0千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港霊南 地区	8,400万0千円	588万0千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港霊南 地区	2,675万0千円	70万3千円
その他 海岸自然災害防止事業	外港地区	976万0千円	68万3千円
その他 海岸自然災害防止事業	内港霊南・ 秩父ヶ浦地区	1,946万8千円	136万3千円
計		1億9,641万8千円	1,540万9千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	3	街路整備事業費	3億3,366万8	2億2,974万0	308~311

**【都市整備課】**

○**霊南山ノ神線整備事業 1億6,535万4千円**

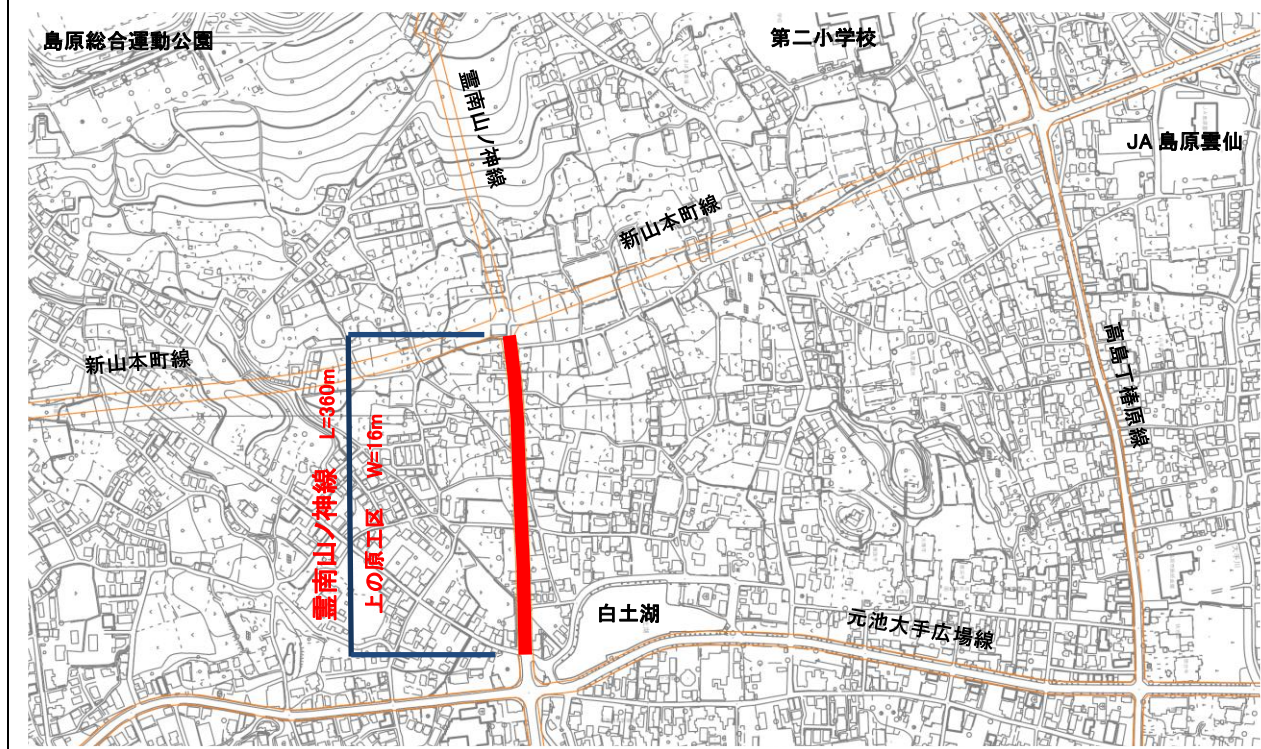
国道 251 号（蛭子町一丁目）から島原郵便局、白土湖を經由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と地域住民の利便性の向上及び地域の活性化を図るため整備する。

上の原工区（約L=360m）の、建物等調査等の業務委託、用地取得、建物等の補償を行ない、道路改良工事を実施した。

- ・建物等調査業務委託 1件
- ・公共嘱託登記業務委託 6件
- ・路床調査業務委託 1件
- ・設計業務委託 1件
- ・用地取得 12件  
(28筆 1,584.65㎡)
- ・建物等補償 13件  
(建物5棟 工作物3件 その他4件)
- ・道路改良工事 L=139m  
(擁壁工 L=89m 側溝工 L=120m)



元池大手広場線交差点から山手方向を撮影





## ○親和町湊広場線整備事業 2,482万4千円

国道57号(親和町)から島原外港IC、ひょうたん池公園、島原病院入口を經由し国道251号(白山町)を結ぶ、都市計画道路であり、島原病院へのアクセス道路としての役割を担い、地域住民の利便性の向上と沿線の良好な市街地形成を図るため整備する。

新湊工区及び下川尻工区の事業化に向け、都市計画道路安德新山線との交差点から都市計画道路元池大手広場線との交差点までの約510m区間(下川尻工区)の測量及び道路詳細設計を行い、用地面積計算及び測量図作成の業務委託を行った。

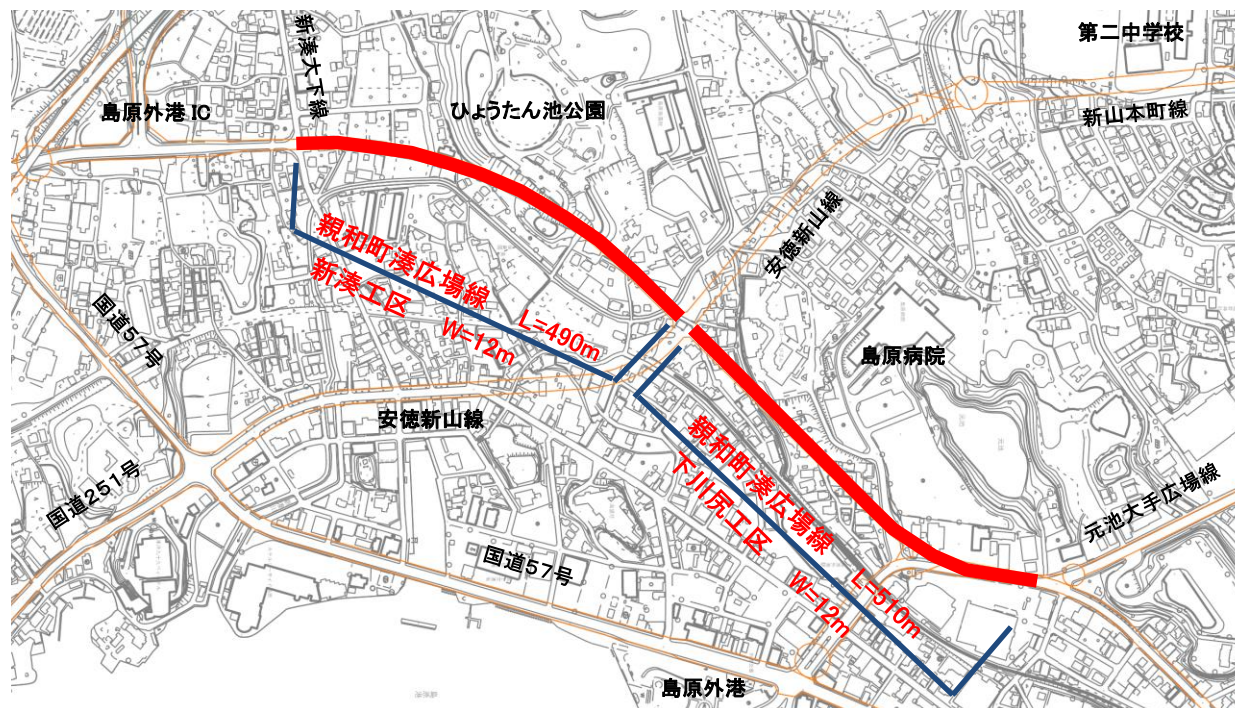
- ・測量設計業務委託 L=510m
- ・用地面積計算と測量図作成 40筆
- ・効果分析業務委託 1式



新湊工区(市道 新湊大下線付近)



下川尻工区(島原病院入口付近)





## ○安徳新山線整備事業 265万7千円

国道 251 号水無川橋から国道 57 号交差点を經由し、都市計画道路新山本町線へ接続する都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び沿線地域の良好な市街地形成を図るため整備する。

南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路親和町湊広場線との交差点までの約 280m 区間の整備の事業化に向けて、設計及び効果分析業務委託を行った。

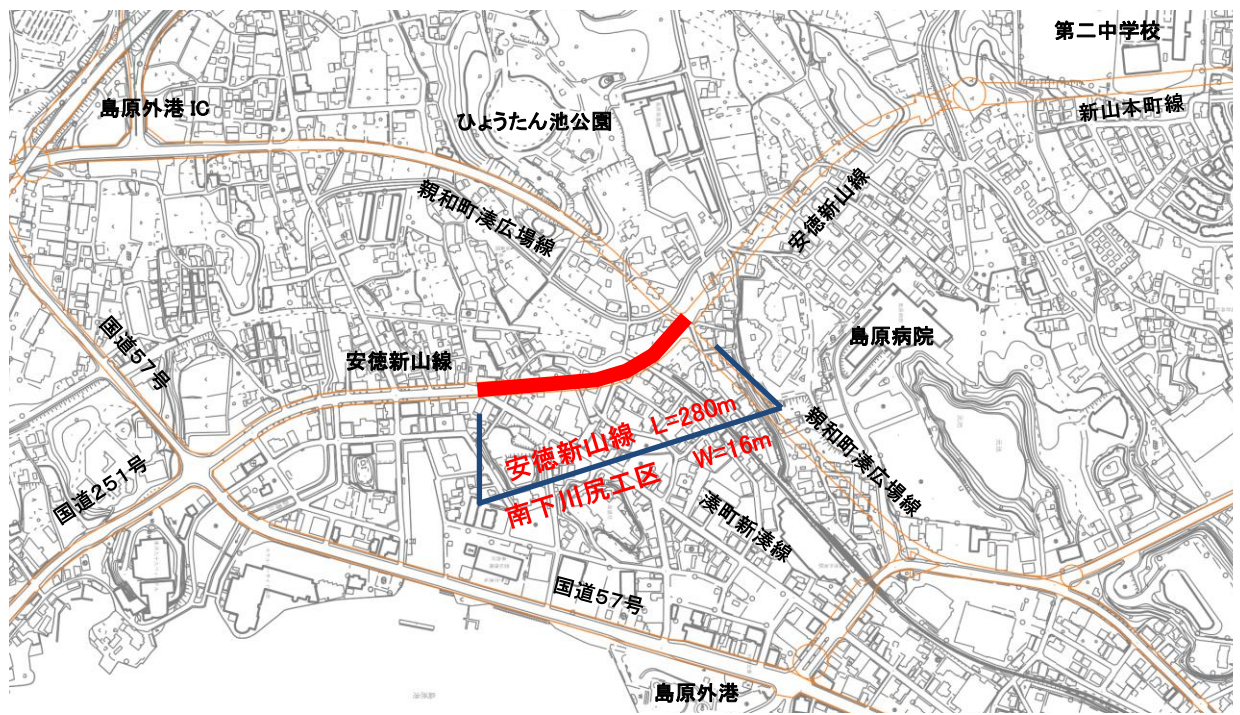
- ・ 設計業務委託 L=280m
- ・ 効果分析業務委託 1 式



市道湊町新湊線（南下川尻町）付近



幅員が狭小な市道（南下川尻町）





○**県営事業負担金（新山本町線整備事業） 3,690万5千円**

都市計画道路安徳新山線から第二中学校を經由し、県道野田島原線を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び通学路の安全を図るため整備する。

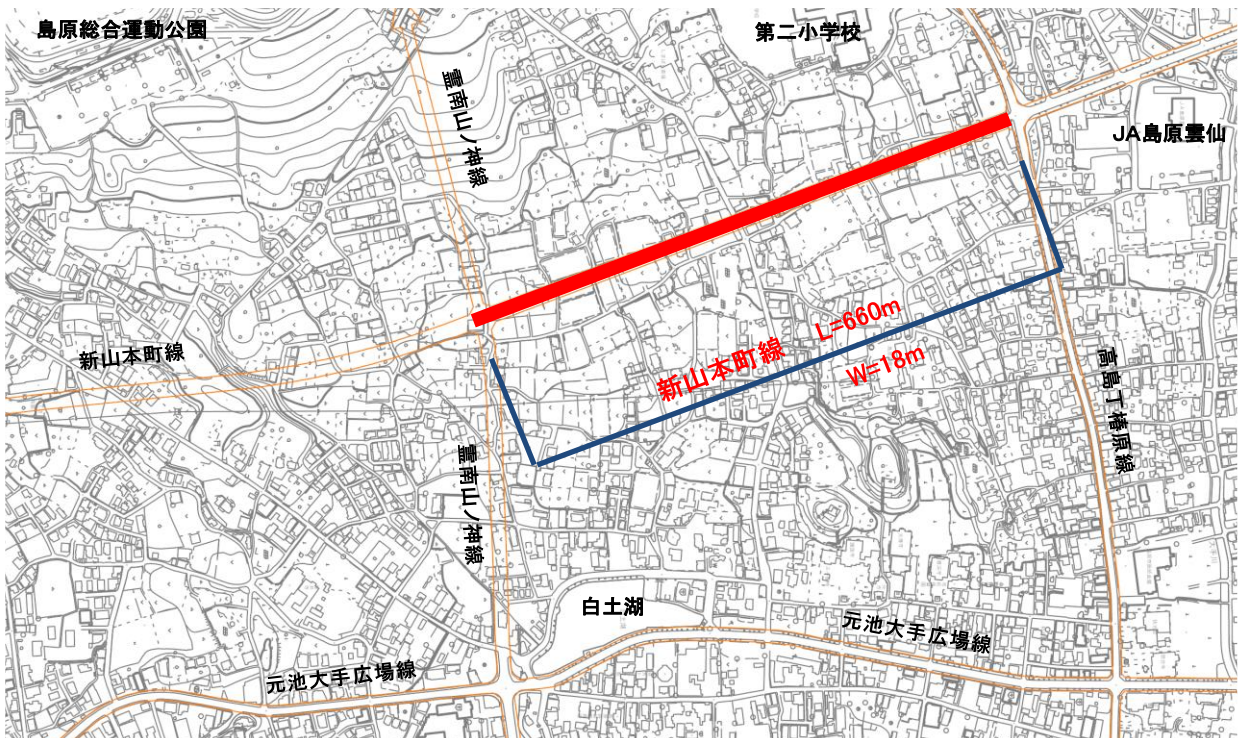
霊南山ノ神線との交差点から高島丁椿原線との交差点までの約 660m区間を、長崎県が実施した事業費に対する地元負担金である。



高島丁椿原線交差点（萩が丘二丁目）付近



幅員が狭小な市道（上の原三丁目）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	4	都市下水路費	1,961万5	1,938万1	310~311

**【都市整備課】**

**○晴雲団地都市下水路改修工事 1,153万3千円**

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から施設が建設され50年以上が経過しており、老朽化が著しい箇所から、年次計画で補強補修等を行い施設の長寿命化を図る。

城内・城西中の丁線（第一中学校北側の市道）の約32mの区間において、頂版取替など劣化状況に応じた改修工事を行った。（平成28年度からの累計154m整備済）



都市下水路内の劣化状況



鉄筋露出腐食状況

**○音無川都市下水路護岸嵩上工事 272万6千円**

大潮と大雨が重なったことが原因で、近年、音無川都市下水路が氾濫し、高島二丁目付近の道路が冠水し、周辺の住宅に浸水被害を及ぼしており、その被害を防止するため、市道高島丁椿原線有明橋から上流220mの区間において、年次計画で護岸嵩上工事を行っている。



嵩上状況（商工会議所裏）



浸水被害防止状況（H30.6.29）

**○都市下水路清掃業務委託 196万6千円**

音無川都市下水路の河床に繁茂した藻により流水が阻害され、また、空き缶、浮遊ゴミが滞留し景観を損なっているため藻の除去及び清掃を行った。（写真はNTT前付近）



清掃前



清掃後



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	5	街なみ環境整備事業費	1,081万2	655万7	310~313

### 【都市整備課】

#### ○街なみ環境整備事業費 655万7千円

□美しいまちづくり推進事業 72万9千円

長崎県が「まちづくり景観資産」として登録した建造物の保全・修景工事費の一部に対して補助を行った。

※まちづくり景観資産とは

長崎県内各地に残されている個性的で魅力のある「まちなみ」、地域景観の核となる「建造物」や「樹木」を登録し、保全と活用を図る制度。

[補助率等]

- ・補助率：補助対象工事費の2/3以内
- ・補助限度額：300万円

[実績]

- ・件数：1件（島崎家住宅・離れ）
- ・総事業費：118万2千円
- ・補助金：72万9千円

（市費：36万5千円、

県費：36万4千円（長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金）



□街なみ環境整備事業 500万円

まちづくり協定区域内の建物等の修景事業に助成を行った。

[補助率等]

- ・補助率：補助対象工事費の2/3以内
- ・補助限度額：250万円

[実績]

- ・件数：2件  
（呉服たにぐち、姫松屋）
- ・総事業費：1,012万7千円
- ・補助金：500万円

（市費：300万円、

国費：200万円（社会資本整備総合交付金）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	1	住宅管理費	9,957万5	9,504万2	312～315

**【都市整備課】**

**○公営住宅管理費 9,504万2千円**

市営住宅 961 戸の適切な入退去と維持管理に努めた。

・住宅使用料 (歳入) 2億1,137万7千円

・市営住宅一覧

湯江団地	20戸	大三東団地	12戸
津吹団地	23戸	下宮第1団地	24戸
下宮第2団地	20戸	稗田団地	28戸
杉山団地	12戸	柏野住宅	110戸
桜馬場住宅	44戸	宮の町住宅	10戸
菰が丘住宅	202戸	霊南住宅	24戸
坂上住宅	6戸	花の丘団地	104戸
新山団地	36戸	秩父が浦住宅	16戸
魚見第1団地	78戸	梅園団地	182戸
仁田住宅	10戸	計	961戸

**【主な維持管理経費】**

・津吹団地給湯設備・便所改修事業費 2棟11戸 1,753万6千円

●事業内容

津吹団地 (全 23 戸) において平成 29 年度に 12 戸、平成 30 年度に 11 戸の浴室、台所、洗面所の給湯設備を改修した。

また、便所は和式であるため、衛生面からの居住性向上を目的とし、洋式の簡易水洗便所へ整備した。

●完成写真

改修前

改修後



- ・稗田団地、杉山団地立退移転料  
稗田団地、杉山団地用途廃止に伴う移転料  
@176,000円×20戸（世帯）＝3,520,000円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	6	2	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費	275万8	260万3	314～317

【都市整備課】

○高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 260万3千円

長崎県高齢者向け優良賃貸住宅供給計画の認定を受け建設された「生き生き横丁」へ、市が管理する住戸（12戸）入居者に係る契約家賃と入居者負担額の差額に対して家賃減額補助を行った。

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	3	耐震・安心住まい づくり支援事業費	375万8	63万1千円	316～317

**【都市整備課】**

**○耐震・安心住まいづくり支援事業費 63万1千円**

島原市内の建築物の耐震化に対する費用の一部の助成を行った。

<内訳>

住宅【耐震診断】 1件× 3万800円 補助額 3万800円 対象事業費の  
1/2 (補助率)

住宅【耐震改修工事】 1件× 60万円 補助額 60万円 対象事業費の  
1/2 (補助率)

◆木造戸建住宅の耐震化



◆建築物の耐震化(ホテル・病院等)



★ブレースを設置し、建物の強度を高め耐震性の向上を図る。

<国土交通省パンフレットより抜粋>

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	4	空き家等 対策事業費	428 万 0	396 万 7	316～317

### 【都市整備課】

#### ○空き家等対策事業費 396 万 7 千円

安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、工事費の一部を助成し支援を行った。

□老朽危険空き家除却支援事業 387 万 1 千円

[補助率等]

- ・補助率：除却対象工事費の 40%以内
- ・補助限度額：50 万円

[実績]

- ・件数：9 件
- ・総事業費：1170 万 1 千円
- ・補助金：387 万 1 千円
- ・国費：193 万 5 千円（社会資本整備総合交付金）

[老朽危険空き家の除却状況]



着手前



解体後

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	7	1	下水道費	9,315万6	9,165万0	316~319

**【道路課】**

**○保守管理業務委託 78万8千円**

仁田団地 (118世帯) 及び船泊団地 (51世帯) コミュニティ・プラントの保守点検を実施し、適正な維持管理に努めた。

**○浄化槽設置整備事業 7,739万2千円**

し尿及び生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽を設置整備する者に対し補助を行った。

区分	設置基数	補助単価	補助金額
5人槽 (単独処理浄化槽撤去)	93基 (0)基	33万2千円 9万0千円	3,087万6千円 0千円
6~7人槽 (単独処理浄化槽撤去)	70基 (0)基	41万4千円 9万0千円	2,898万0千円 0千円
8~50人槽 (単独処理浄化槽撤去)	32基 (0)基	54万8千円 9万0千円	1,753万6千円 0千円
計	195基		7,739万2千円

(平成31年3月31日現在)

住民基本台帳人口 ①	汚水処理人口 ②	汚水処理人口 普及率 ②/①	住宅用合併処理 浄化槽処理人口 (コミュニティ・プラント 処理人口除く) ③	浄化槽人口普及率 ③/①
44,907人	20,483人	45.6%	20,029人	44.6%



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	2	非常備消防費	1億567万4	1億460万4	320~323

**【市民安全課】**

**○消防団活動経費 1億460万4千円**

- ・火災が起こりやすい季節（春・秋）には広報活動を行い、火災予防、啓発活動を行った。
- ・総合訓練、各地区訓練、新入団員訓練等を実施し、団員の資質向上に努めた。また、30年度は湯江地区消防団が長崎県消防ポンプ操法大会で優勝の快挙を成し遂げ、長崎県代表として全国消防操法大会に出場した。湯江地区はもとより全地区の士気高揚と団結強化が図られ、本市消防団の歴史の中でも多大な功績を残した。
- ・小学校や自主防災会、福祉施設等と消火・避難訓練を行い、地域防災体制の強化を図った。

(活動経費内訳)

- ・ 団員報酬 1,982万3千円
- ・ 出動報酬 4,023万4千円 (内ポンプ操法経費 918万0千円)
- ・ 非常備消防経費 4,454万7千円 (内ポンプ操法経費 926万5千円)



年末警戒



地区訓練



長崎県消防ポンプ操法大会



全国消防操法大会

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	3	消防施設費	3,248万7	2,701万6	322~323

**【市民安全課】**

**○消防施設整備事業費 2,701万6千円**

島原市消防団の消防活動に必要な施設整備や消防水利の整備を行った。

(主な施設・機材等)

区 分	数 量	金 額
消防ポンプ自動車更新	1台 (第14分団管轄)	1,933万2千円
消火栓 新設工事	4基	430万9千円
〃 布設替え等工事	7基	



第14分団消防ポンプ自動車

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	4	災害対策費	3,483万2	3,050万9	322～327

### 【市民安全課】

#### ○自主防災会組織の強化 109万5千円

(事業内容)

地域防災の強化を図るため、自主防災会や消防団を対象とした研修会や、初となる女性を対象とした研修会等を開催した。

- ・自主防砂リーダー研修会 (460人)
- ・女性を対象とした研修会 (240人)
- ・消防団を対象とした研修会 (260人)
- ・地域防災マップ作製支援 (34町内会においてマップ作製支援、並びに配布)
- ・島原市防災避難訓練 (2,180人)
- ・初期消火訓練 (9町内会・自治会)

(事業の成果・効果)

市内の自主防災会や女性を対象とした講演会等の開催や、地域においての初期消火訓練、防災マップ作製を行うことで、防災意識の高揚が図られた。

市防災避難訓練は安中地区で開催され、今回初めて地区内の保育園、小中学校、高等学校、福祉施設が参加し、地元消防団と安中地区以外の消防団の協力のもと、溶岩ドームの崩落を想定した実践的な避難訓練が実施され、地域の防災力の強化が図られた。



・自主防災リーダー研修会



・女性を対象とした研修会



・消防団研修会



・初期消火訓練



・地域防災マップ作製支援



・島原市防災避難訓練

**○Jアラート新型受信機購入 248万4千円**

(事業内容)

平成31年度から、全国瞬時警報システム（Jアラート）の情報伝達が新型受信機のみにより行われることとなるため新型受信機への更新を行った。

(事業の成果・効果)

○新型受信機による処理時間の大幅な短縮

大地震発生時など、処理すべきデータ量が膨大な場合には、受信機の情報処理に時間を要する恐れがあるが、新型受信機への切り替えにより、平均7～8秒の短縮が可能となった。